

シラバス 自動車整備 科 二級自動車整備士 コース

講義名	＜学科＞ 一年次後期 ガソリン・エンジン構造1				
概要と目的	国家試験レベルの知識を身に付ける				
担当者	花岡 大輔	単位数	12 時限	区分	学科
実務経験	カーディーラー等の整備工場において自動車整備の実務を経験した教員がガソリン・エンジン構造について教育を行う科目。				
講義対象	一年生	時 期	9月下旬～3月		
使用教材	三級自動車ガソリン・エンジン				
到達目標	三級レベルの理解				
成績評価	期末試験・出欠点・平常点 A評価が全体の25％、B評価が45％、C評価が30％を基準とする。				
授業計画					
1 時限	バルブ・タイミング練習問題(6 気筒)				
2 時限	潤滑装置 P51～52、バルタイ練習問題(6 気筒)				
3 時限	潤滑装置 P52～54、バルタイ練習問題(6 気筒)				
4 時限	潤滑装置 P54～57、バルタイ練習問題(6 気筒)				
5 時限	冷却装置 P59～60、バルタイ練習問題(6 気筒)				
6 時限	冷却装置 P60～62、バルタイ練習問題(6 気筒)				
7 時限	冷却装置 P62～64、バルタイ練習問題(6 気筒)				
8 時限	冷却装置 P65、バルタイ練習問題(6 気筒)				
伝達事項等					
校長	所 属		授業資格		実務経験
	学科長	担当者	学科実習 あり		あり

シラバス 自動車整備 科 二級自動車整備士 コース

講 義 名	＜学科＞ 一年次後期 ガソリン・エンジン構造1				
概要と目的					
担 当 者		単位数		区分	
講義対象		時 期			
使用教材					
到達目標					
成績評価					
授業計画					
9 時限	冷却装置 P66～67				
10 時限	演習 期末試験対策				
11 時限	演習 期末試験対策				
12 時限	期末試験				
伝達事項等					
校長	所 属				
	学科長	担当者			

講 義 名	＜学科＞ 一年次後期 ガソリン・エンジン構造2				
概要と目的	国家試験レベルの知識を身に付ける				
担 当 者	霜田 大	単位数	12 時限	区分	学科
実務経験	カーディーラー等の整備工場において自動車整備の実務を経験した教員がガソリン・エンジン構造について教育を行う科目。				
講義対象	一年生	時 期	9月下旬～3月		
使用教材	三級ガソリン・エンジン				
到達目標	三級レベルの知識				
成績評価	期末試験・出欠点・平常点 A評価が全体の25％、B評価が45％、C評価が30％を基準とする。				
授業計画					
第 1 回	電子制御式燃料噴射装置とは P115 吸気系統 バキューム・センサ(構造、作動)P117				
第 2 回	吸気系統 バキューム・センサ続き(インマニ圧力と表現、表作成)P117 吸気系統 エア・フロー・メータ(役割、原理)P118				
第 3 回	吸気系統 エア・フロー・メータ(熱線式)作動 P118 エンジン回転速度制御装置 アイドル回転速度制御装置 P119				
第 4 回	エンジン回転速度制御装置 電子制御式スロットル装置、スロットル・モータ P119				
第 5 回	エンジン回転速度制御装置 スロットルポジションセンサ P120、燃料系統 P121				
第 6 回	点火系統 点火時期制御(必要性、エンジン状態と進角遅角、アイドル制御、ノッキング)P121				
第 7 回	制御系統 概要、回転センサ(役割、種類、原理)P123				
第 8 回	制御系統 クランク角センサ、カム角センサ、O ₂ センサ P125				
伝達事項等					
校長	所 属		授業資格		実務経験
	学科長	担当者	学科実習 あり		あり

シラバス 自動車整備 科 二級自動車整備士 コース

講 義 名	＜学科＞ 一年次後期 ガソリン・エンジン構造2				
概要と目的					
担 当 者		単位数		区分	
講義対象		時 期			
使用教材					
到達目標					
成績評価					
授業計画					
第 9 回	制御系統 空燃比センサ、温度センサ、スタータ信号、ECUP126				
第 10 回	制御系統 車載式故障診断装置(OBD)P128 対策プリント配布				
第 11 回	対策プリント解説				
第 12 回	期末試験				
伝達事項等					
校長	所 属				
	学科長	担当者			